

花山天体観望会「名月と名曲」—演奏者から—

鈴木大介・小池克弥（京都大学邦楽サークル観風会）

今回の「名月と名曲」は私にとって二度目の一般の方に向けての演奏会でした。私の弾いた「六段の調べ」という曲自体はお箏を弾いたことのある人であれば、誰でも弾いたことのあるような簡単な曲でした。しかし本番ではとても緊張して、何度も間違えてしまいました。やはり、部内の発表会と、一般の方々に聴いていただく発表会とでは重みが違います。それでも、天文台の方々の素晴らしいセッティングや時折見える月の美しさのおかげで私のミスも多少誤魔化され、お客さまには楽しんでいただけたのではないかと思います



私たちのサークルでは一般の方の前で演奏するという機会はあまりありません。そのため、この会は本来聴いていただいている方のためのものではありましたが、それ以上に私自身が得たものが大きかったように思います。来年はさらに経験を積んで、より良い演奏をすることが出来るように練習を重ねていきたいと考えています。ありがとうございました。（鈴木）

花山天文台については大学の授業で聞いたことがあってよく知ってはいたのですが、実際に行くのは初めてだったので、演奏が始まる前から妙に緊張していました。あたりが暗くなると、会場からは山科の夜景も見下ろすことができ、とても感動的でした。私たちが準備をしている間は大変綺麗な中秋の名月が見えていたのですが、演奏が始まる頃には厚い雲に隠れてしまっていました。お月見を楽しみにいらっしゃった来客の皆様の中に

☆・星空プロムナード・☆

は残念に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、時折、月が雲間から顔を出す様子は、大変風流な景色でありました。そのもとで、私は『六段の調』（八橋検校作曲）と『唐砧』（宮城道雄作曲）という二曲を演奏させて頂きました。その翌月に定期演奏会を控え、人前で演奏する貴重な機会を頂き、とても有り難く思っております。拙い演奏ではありましたが、お声掛け頂き、また沢山の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。（小池）

星空プロムナード

暦 惑星 冬の星座案内

作花 一志 （京都情報大学院大学）

木枯しの中、オリオン、シリウス、火星が輝く季節です。寒さに負けずに都市光を避けて美しい星空を眺めたいものです。 満月○ 新月●

日	月	火	水	木	金	土
1月 January						
					○ 月食 1	2
3	4	小寒 5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	● 日食 15	16
講演会 17	18	19	大寒 20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	○ 30
31						

2月 February						
	1	2	節分 3	立春 4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
● 14	15	16	17	18	雨水 19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月 March						
	○ 1	2	3	4	5	啓蟄 6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	● 16	17	18	19	20
春分 21	22	23	24	25	26	観望会 27
28	29	○ 30	31			